

《イベント》



苦いけど、興味津々な子どもたち
「ゴーヤーの日」の出前授業と贈呈式

5月8日(金)、米須小学校の3・4年生を対象に「ゴーヤーの日」の出前授業および糸満市農業戦略産地連絡協議会とJAおきなわ糸満支店から学校給食へゴーヤーの贈呈が行われました。今年の出前講座は、東京都八王子市の横山第二小学校の4年生もオンラインで参加。授業では、糸満市のゴーヤーの出荷量、栽培方法やおいしいゴーヤーの見分け方を教わりました。授業後半には、

糸満市公式 Instagram では、
出前授業の様子を公開中！



毎年恒例のゴーヤージュースの試飲が行われ、苦い顔で飲み干す児童らを見て、教室に笑い声が響き渡りました。児童を代表して久保田愛菜さん、玉城凜夏さんは「ゴーヤーにしかないモルデシンのほかにも栄養がたくさんあることが知れたので、いっぱいゴーヤーを食べたいです」と話しました。また、給食では糸満産ゴーヤーを使用したゴーヤーチャンプルーが提供されました。

《催し》



夏本番！水辺で涼もう！
西崎レクリエーションプール

5月2日(土)、西崎レクリエーションプールでプール開きが行われました。施設を管理する糸満市公園・体育施設管理共同企業体の稲嶺盛和代表は「市内外から多くの皆さんが来場します。安心・安全・無事故で運営できるように努力していきます」とあいさつし、安全祈願を行いました。子どもたちは、春の心地よい風が吹く中、今シーズン最初の遊泳を楽しみました。

《協定》



制服を次世代へ
リユース推進と
子育て世帯の支援に関する協定締結

4月27日(月)、市役所で糸満市と株式会社アタッチ・メントによる制服のリサイクルに関する協定締結式が行われました。同協定は、家庭で不要となった制服などのリユースを推進し、環境負荷の低減および就学に際する子育て世帯の支援のために締結。山城渉代表取締役は、「協定の締結により、地域貢献できることを非常にうれしく思います」と話しました。

《出発式》



みんなで守ろう、みんなのいのち
日本赤十字社活動資金募集出発式

5月12日(火)、市役所で令和8年度日本赤十字社活動資金募集出発式が行われました。出発式で、当銘真栄地区長(糸満市長)は「団員の皆さまには、人々の幸せを願う心で広く活動していただき感謝いたします」とあいさつをしました。出発式後には、市内の優良協力企業を訪問し、赤十字活動へのご理解、ご協力に感謝を伝え、活動資金寄付贈呈式を行いました。

《協定》



新しい風を真栄里から
真栄里地区(商業・ターミナルゾーン)
企業立地基本協定書を締結

5月8日(金)、市役所で糸満市と株式会社メイクマンによる真栄里地区(商業・ターミナルゾーン)企業立地基本協定式が行われました。具志堅全彦代表取締役は「イオン琉球株式会社とともに、沖縄に根付いた企業として正式に事業をスタートできることに心からうれしく思っています。糸満市をもっと豊かにできる環境を築き上げていきたいです」と話しました。

《制定》



Passionを全国へ
「パッションフルーツの日」制定セレモニー



糸満市の特産品でもあるパッションフルーツの消費拡大と産地力の強化を目指し、4月29日(水)に糸満ファーマーズマーケットうまんちゅ市場で「パッションフルーツの日」制定セレモニーが開催されました。糸満市はパッションフルーツの生産量で県内第1位を誇るほか、平成15年には沖縄県から農林水産戦略品目拠点産地の認定を受けており、市内小学校における出前講座などの普及

啓発活動を継続的に実施。今後、さらなる魅力発信と産地力強化を目的として、出荷最盛期を迎える4月29日を新たに「パッションフルーツの日」として制定しました。当日は、市民や観光客がにぎわう中、糸満高校ダンス部による華やかなダンスの披露でセレモニーがスタート。セレモニー後には、豪華景品が当たる「じゃんけん大会」が行われ、会場は参加者の元気な声に包まれました。